

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第35号

「コウノトリの夏」

2022年8月15日

立秋ど真ん中ですが、まだまだ夏本番です。夏と言えば夏バテ。コウノトリは食欲が多少下がったこともありましたが、元気に換羽中です。そしてもう一つ、夏と言えば花火！ みなさん花火は好きでしょうか？ 夜空に輝く花火はとてもきれいですが、少し気がかりなことがあります。花火は静かな暗闇にいきなり光り、大きな音を立てます。もしコウノトリが花火に驚き飛び立ちフェンス等に当たったらと考えると心配です。

8月13日には熊谷花火大会があり、打ち上げ予定場所は天空の里から約2kmととても近いです。飼育スペース内でコウノトリが花火に驚いたとき飛び回らないよう、当日は少し狭い場所へ移動させることになりました。当施設は、大雪や急なケガに備えて狭く丈夫な部屋（小ケージ）があります。花火大会に向け、2週間前の休館日から小ケージへ移動する練習を始めました。初日、オスの空は午後から小ケージへ行くようになり、メスの花は夕方やっと入りました。17時頃、元の飼育スペースへ戻そうとすると、すぐに2羽とも帰って行きました。

小ケージへの
通路



小ケージへの通路を開けました



2度目、空はもう縄張りかのようにすぐに入り水浴びをするほどリラックスしていました。花も初日よりすんなり入っていました。
この話が投稿される頃には、花火大会は終わっています。花火大会当日の話は、次回のお楽しみです。



小ケージで虫を探索中

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：しみじい